



## 学校評価保護者アンケートの「ご意見ご要望」について

第1回保護者アンケートの「Ⅶ 学校の教育活動についてのご意見ご要望」につきましては、17名の方から記述をいただきました。お忙しい折、たいへんありがとうございます。職員会議の中で、全教職員がすべてのご意見やご要望に目を通しました。

寄せられたご意見ご要望の取り扱いにつきましては、「学校の様々な取組や学級担任の取組を積極的に支持して下さっているもの」及び「学級担任が回答したり、今後の学級経営・学習指導の中で対応したりするべきもの」は、ここでは紹介及び回答しないものとし、学校としての対応が必要であると判断したものについてのみ、紹介及び回答させていただきます。

- ◆ 時々、ヘルメットをかぶらず自転車に乗っている子がいます。
- ◆ 下校時、信号待ちをしている子が前に出すぎて、右左折する車に巻き込まれそうに思うときがあります。車道を歩いたり、裏道や駐車場で遊んで帰っている子は、車通りが多いので危険だと思います。
- ◆ 3～4人横に広がって歩いたり、ヘルメットをかぶらず自転車に乗っている子を時々見かけます。また、ランドセルのまま寄り道をしている子もいるように思います。いずれも家庭で注意する事だと思うので、我が家でも引き続き言い続けていきます。

→ 下の表は、「平成28年4月～7月」と「平成27年4月～7月」の「桐生市児童生徒の交通事故件数」をまとめたものです。

桐生市児童生徒の交通事故件数（平成28年4月～7月）					（平成27年4月～7月）			
	小学校	中学校	高 校	合 計	小学校	中学校	高 校	合 計
徒歩による事故	4	0	0	4	3	0	0	3
自転車運転時の事故	3	4	3	10	3	12	7	22
その他	1	0	0	1	2	1	0	3
合計	8	4	3	15	8	13	7	28

  

	小学校	中学校	高 校	合 計	小学校	中学校	高 校	合 計
登校時における事故	2	2	3	7	1	3	4	8
下校時における事故	1	1	0	2	3	4	2	9
その他（学校管理下）	1	1	0	2	0	5	0	5
その他（学校管理下外）	4	0	0	4	4	1	1	6
合計	8	4	3	15	8	13	7	28

幸いにもこの2年間、北小では交通事故に遭った児童はいませんが、桐生市全体ではこのように多くの児童が交通事故に遭っています。

今回ご指摘いただいた児童の様子は、すべて重大な事故につながりかねない危険な実態であると思いますので、マナーを含めた交通ルール遵守の指導、自転車の安全な乗り方の指導、危険予測・危険回避能力を高めるための指導を、各学年の発達段階に応じてさらに徹底し、北小児童の交通事故ゼロが今後も継続するようにしたいと考えています。

また、ヘルメットの着用、寄り道の厳禁などについては、学校でも指導しますが、家庭でも折に触れて、声掛けや確認をしていただければと思います。

なお、また、下校時間の厳守や寄り道の厳禁については、下校指導の中で繰り返し再度徹底していききたいと思います。交通ルールの遵守についても、命に関わる大切な事柄でありますので、具体的な事例を挙げて繰り返し指導していききたいと思います。

なお、交通ルールを守らない児童に出会った場合には、是非その場で声掛けをしていただけますようお願いいたします。他家のお子さんに対して勇気のいることかと思いますが、その場で気付かせることが改善への一番の近道だと思います。保護者の皆さんも、街に出た時には“地域の教育力”になるという意識をもってお願いいたします。

◆ 授業参観を土曜日に開催して頂けると助かります。平日は仕事があるた為、なかなか仕事が休めず、行事に出席するのが難しいです。

→ 現在、週休日（土曜日・日曜日）に学校行事を実施しているものとして「運動会」がありますが、土曜日を授業日（運動会）にするための法的な措置として、月曜日を「振替休日」にしています。

小学校の運動会を週休日に実施することは、これが1年に1回のことであるとともに、尚かつ、何十年間にも渡って全国的・一般的・継続的に行われているということもあって、（保護者の中には、むしろ土曜日・日曜日の方が仕事が忙しいという方もいらっしゃるかと思います）保護者の皆さんからも一定の理解を得られていると考えています。

しかし、土曜日に「授業参観」を開催するには、運動会と同様に、月曜日を「振替休日」にしなければなりませんので、学校運営上の観点も含めて、諸般の事情を勘案した結果、運動会以外の行事を土曜日に設定することは、現在のところ考えていません。

年度当初に、各家庭に『年間行事予定表』を配付してありますので、授業参観日の仕事につきましては、事前にできる限り時間調整に努めていただくとともに、短時間でも結構ですから、万障繰り合わせて出席していただけますようお願いいたします。

ちなみに、中学校では、体育大会、合唱コンクール、マラソン大会の3つを「三大行事」と呼んでいますが、桐生市内の中学校では11校すべてが、これらを平日に開催しています。

◆ 水筒の中身を、麦茶やスポーツドリンクもOKにして欲しい。

→ 熱中症予防のための水分補給は、冷たい水を小まめに補給することが重要で、味が付いている方が飲みやすいなどの配慮は本質的なものではありません。また、スポーツドリンクが熱中症予防に効果的を発揮するのは、激しい運動が長時間継続される中学校の部活動のようなケース（2時間前後連続して行われる練習、一日に複数回行われる試合など）であり、夏季の学校生活や小学校の運動会練習などでは、冷たい水の小まめな補給で十分であると考えています。

◆ 教育活動と少しずれてしまいましたが、プリントが多すぎませんか。現在、いろいろな企業等は、パーパーレスとして努力しています。子どもの学習するためのプリントは大いによろしいと思いますが、メールも大分普及しているので、メールで大丈夫なものはメールにして欲しいと思います。プリントの管理も大変ですし、学校としても、税金かもしれませんが、雑費削減になるのではないのでしょうか。

→ ペーパーレスという時代の流れや消耗品費の削減という観点から、学校としても、＜桐生ふれあいメール＞を活用した各家庭への通知等については積極的に進めていきたいところですが、「＜桐生ふれあいメール＞に登録していない家庭がある」という実情を踏まえて、紙媒体での通知等を正式なものとし、電子媒体を使ったお知らせについては、あくまでも補助的な手段として活用してきました。

しかし、これからのことを考えた場合、現状のままであり続けることは適切ではないと考え、平成28年10月6日付けで、ふれあいメールの登録状況を確認する文書を各家庭に配付して実態調査を行ったところ、以下のような結果となりました。

- 登録できる環境にない家庭はありませんでした。
- 今回の実態調査がきっかけとなって、新規に登録していただいた家庭がありました。
- したがって、延べ家庭数（187件）のすべてで、＜桐生ふれあいメール＞を受信できる環境が整いました。ご協力たいへんありがとうございました。

上記の結果を踏まえて、今後は、学校が全家庭に配付する文書で、可能なもの（情報量の少ないもの、回答を要しないもの、荒天時や不審者出没時の対応に関するもの等）については、徐々に＜桐生ふれあいメール＞による通知に切り替えていきたいと考えています。

なお、現在の環境を今後も維持していくためには、次のことが必要になりますので、引き続き保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

- ◎ 携帯電話やスマートフォンの機種を変更した（買い替えた）場合は、必ず＜桐生ふれあいメール＞に再登録を行う。
- ◎ 再登録する場合は、北小に在学している兄弟姉妹のすべてについて登録作業を行う。

